

## ◎ 診療科名

ホスピス実習

## ◎ 責任者氏名

池内 浩基 臨床教育統括センター長

## ◎ 教育担当教員氏名：

(臨床教育統括センター)

平山 亜矢子 兼任教員 山口 円 兼任教員 古川 美紀 兼任教員  
池田 浩子 兼任教員 若杉 樹史 兼任教員

(医学部)

高橋 友子 非常勤講師

## ◎ 実習概要

エンド・オブ・ライフ期にある患者、家族と接し、生と死について考え、学生間での意見を共有することで緩和ケア病棟における患者、家族の理解を深めることを目指す。

## ◎ 到達すべき学修成果（アウトカム）

- 緩和ケアの概念と基本的知識を理解し、説明ができる。
- 患者、家族の痛み、苦しみ、悩みを含め、患者、家族の思いを受容、傾聴、共感できる姿勢をもつことができ、医療人として適切なコミュニケーションをすることができる。
- 患者、家族の思いから学んだことを表出し、ディスカッションすることができる。

## ◎ 事前学習内容

- 緩和ケアの概念と基本知識を予習しておく
- コミュニケーション技術を復習しておく
- Moodle2 の提出物欄にある「実習前課題」を Moodle2 で記入し提出すること。

## ◎ 評価方法

緩和ケア病棟という環境を理解し、患者さんおよびご家族の想いを受け止める。

そのために下記に基づき知識、技術、態度面を評価する。  
 (知識、技能、態度についてS、A、B、Cで評価。評価基準をループリックで明示)

	S	A	B	C
知識	緩和ケアの概念や基本知識をもとに、緩和ケア病棟について患者、家族に自分の言葉で説明できる。	緩和ケアの概念や基本知識をもとに、緩和ケア病棟について患者、家族に説明できる。	緩和ケアの概念や基本知識がわかる。	緩和ケアの概念や基本知識が分からない。
	患者、家族とより良いコミュニケーションをするための方法が説明できる。	患者、家族と信頼関係を築くコミュニケーション技術の方法がわかる。	コミュニケーション技術の受容、傾聴、共感の内容が理解できる。	コミュニケーション技術の方法がわかる。
技術	患者や家族の思いを尊重したコミュニケーションができる。	患者、家族の思いを受容、傾聴、共感した姿勢で聴くことができる。	非言語的コミュニケーションを活用して患者、家族の話を聴くことができる。	患者、家族の話を聴くことができる。
態度	患者、家族の人格を尊重した態度で接することができる。	適切な言葉遣いや礼儀正しい態度で患者、家族に接することができる。	適切な言葉遣いや礼儀正しい態度で患者、家族に接する姿勢がみられる。	適切な身だしなみで、自己紹介ができる。

## ◎ パフォーマンス評価

患者さんやご家族との面談内容を評価する。  
 実習中にグループディスカッションを行う。

## ◎ フィードバック

実習終了時に、その場でフィードバックを行う

## ◎ 集合場所および時間

別途通知する。

## ◎ 提出物

実習前課題：実習 5 日前までに提出

実習後課題：実習後 1 週間以内に提出

## ◎ 持参物・身だしなみ

- 健康観察シート（必須） Moodle2 から印刷して記入すること
- ケーシー持参（必須）
- 名札着用（必須）
- 私服で問題はないが「常識の範囲内」で「清楚」であること。ビジネスカジュアルを参考にすること。  
※スウェット等は禁止。  
※実習にご協力いただく患者さんや家族だけでなく、実習を受け入れて頂いた施設職員にも不快感を与えない服装を心がけること。

## ◎ 日程（予定）

別途通知する。

## ◎ 注意事項

- 死期のせまった患者さんであるため、言動には細心の注意を払うこと。ご家族に対しても同様である。
- 精神的に不安定であったり、医療に対する不満、死への恐怖などを訴えられる場合もあり得るが、医療者として受け止めること。
- 患者さん、ご家族との口論、トラブルは厳禁である。
- 守秘義務は厳格に守ること。
- お話し頂いた内容は当日のグループディスカッション以外では口外しないこと。
- 身だしなみに注意すること。特に、においに敏感になっている患者さんもいらっしゃるため、過度な香りのする物は使用しないこと。

- 忘れ物（健康観察シート、名札）、身だしなみ不良、態度不良、遅刻、無断欠席は全評価Cとする。  
\*やむを得ない事情で欠席した場合は、理由書を提出すること。
- 患者さんの状態によっては、実習ができない場合もある。
- 実習（原則土曜日 9:00-12:00）  
実習日程は、グループを指定しているが、都合が悪ければ他のグループの学生と変更は可能である。ただし、その場合は学生同士が調整し、事前に西宮教学課（igaku@hyo-med.ac.jp）に連絡すること。連絡がない場合は実習不可となる。